

## 公開しなければならない臨床研究

### \* 利用する情報に合わせてどちらかにチェックをつけてください。

【個人を特定できる場合】

- ・情報を収集する時点で個人が特定できている場合
- ・対応表を自施設または提供元施設で保管している場合

注意) オプトアウトを行う研究(情報の利用拒否機会を設けている研究)は全てこちらに該当します。

【個人を特定できない場合】

- ・データベース、レジストリから条件を選択して抽出した情報を使用する場合

注意) 使用するデータの管理状況、取り扱い規程等により異なるため詳細は当該情報を管理している事務局、管理者等へ確認すること。

研究課題名	生体試料を用いたシェーグレン症候群におけるイムノコンプレキソーム解析法および網羅的蛋白解析
所属(診療科等)	長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科
研究責任者	川上 純 (教授)
研究機関	この研究は長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科で実施します。
研究期間	2020年9月15日~2026年3月31日
研究目的と意義	シェーグレン症候群では目や口の乾燥症状や免疫の異常がみられますが、その原因は未だ確定していません。シェーグレン症候群が疑われた患者さんの血液、唾液および唾液腺組織といった生体試料を用いて、病気の発症にかかわると考えられる蛋白質を様々な方法で解析することにより、この疾患の原因となる因子を見つけることを目的とします。本研究によりシェーグレン症候群の理解、医療の発展に貢献することができます。
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>これまで長崎大学病院 リウマチ・膠原病内科でシェーグレン症候群の原因を調べるためにおこなっていた先行研究「血液、唾液および唾液腺組織を用いたシェーグレン症候群の病態と病因についての研究」に同意された患者さん、または1995年1月1日より2020年8月31日の間に長崎大学病院リウマチ・膠原病内科でシェーグレン症候群が疑われ口唇生検を施行された患者さんを対象といたします。</p>
	●利用する情報/試料

	<p>患者背景、血液検査の結果、画像検査の結果などを情報とし、血液検体、唾液検体、唾液腺検体を試料として利用いたします。</p> <p>本研究で利用する情報および試料について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法</p> <p>先行研究「血液、唾液および唾液腺組織を用いたシェーグレン症候群の病態と病因についての研究」もしくは通常の診療の中で得た上記の情報と既存試料が残っている方は既存試料も用いてシェーグレン症候群の発症原因に關与する蛋白分子の同定解析長崎大学病院リウマチ・膠原病内科、また一部の解析は長崎大学薬学部でおこないます。また患者さんの上記の情報もあわせて用いてシェーグレン症候群の特徴を検討します。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：清水 俊匡（医師） 長崎大学病院 リウマチ膠原病内科</p> <p>住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号</p> <p>電話：095（819）7262 FAX 095（849）7270</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200</p> <p>受付時間：月～金 8:30～17:00（祝・祭日を除く）</p>